

第Ⅳ章 合意形成の促進及び国内外に向けた情報発信

1. 既存ツールを活用した県内向けイベントの企画・開催運営

過年度成果、合意形成・情報発信ツール等を活用した跡地利用計画に関するパネル展を開催し、普天間飛行場跡地利用についての合意形成・情報発信を行った。

(1) 展示イベントによる情報発信の概要

不特定多数の県民・市民が利用する県内の商業施設において、巡回パネル展を開催することで、普天間飛行場跡地利用に向けての取組を、県民に広く周知し、返還後のまちづくりに関する気運醸成を図ることを目的とする。また、AIを活用したデジタルコンテンツを試験的に提供することで、将来の跡地利用への関心、参加意識の向上を目指すとともに、AIを使用したコンテンツへの評価を検証する。

併せて、アンケート調査を実施することにより、広く県民の意見を聴取する。

1) 開催概要

開催日時及び場所は以下のとおりである。

表Ⅳ-1-1 開催日時・場所

日時	場所
令和6年11月23日(土)～11月24日(日) 【10:00～18:00】	サンエー那覇メインプレイス (3階エントランス)
令和7年1月18日(土)～1月19日(日) 【10:00～18:00】	サンエー浦添西海岸パルコシティ (オレンジゾーン4階エントランス)

2) 展示内容

令和4年度に作成した「中間取りまとめ(第2回)」説明パネル20枚(大人向けパネル・子ども向けパネル各10枚)を展示し、来場者の関心が高いパネルの把握及び参加型の展示にするため、評価するパネルへ「いいねシール」を貼付してもらった。

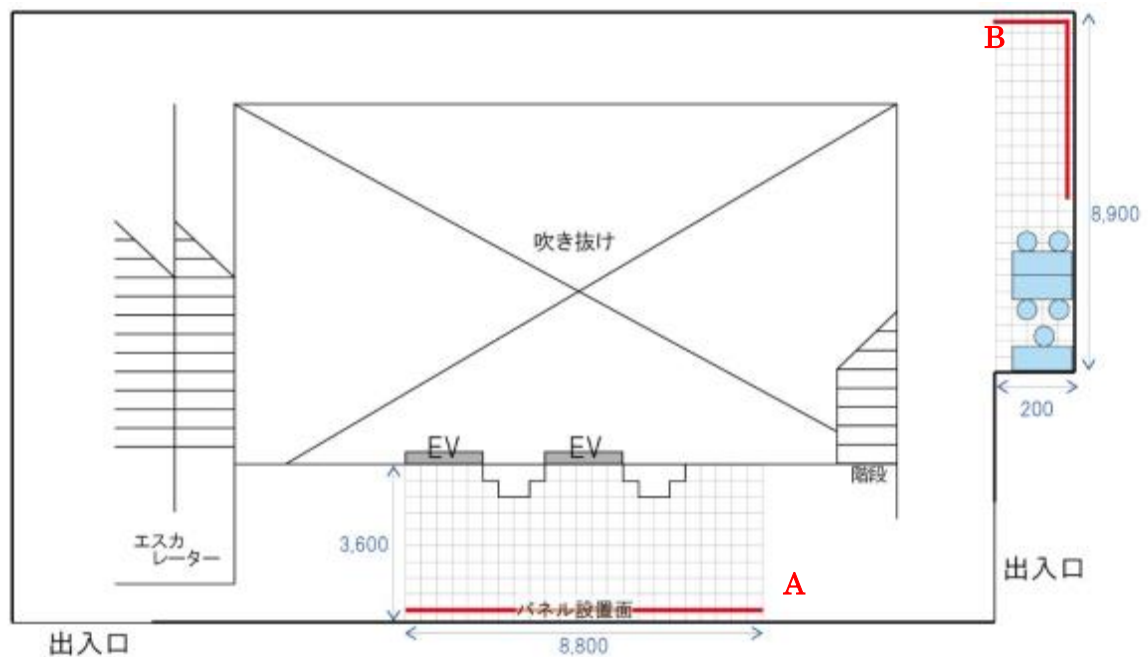
また、主に子どもを対象に、未来の普天間のまちの絵を手書きで描いてもらい、画像生成AIによって実写レベルの画像で出力し、参加者にノベルティとして配布した。



図Ⅳ-1-1 いいねシール貼付ボード

3) ブースレイアウト

① サンエー那覇メインプレイス（3階エントランス）



図IV-1-2 ブースレイアウト（平面図）

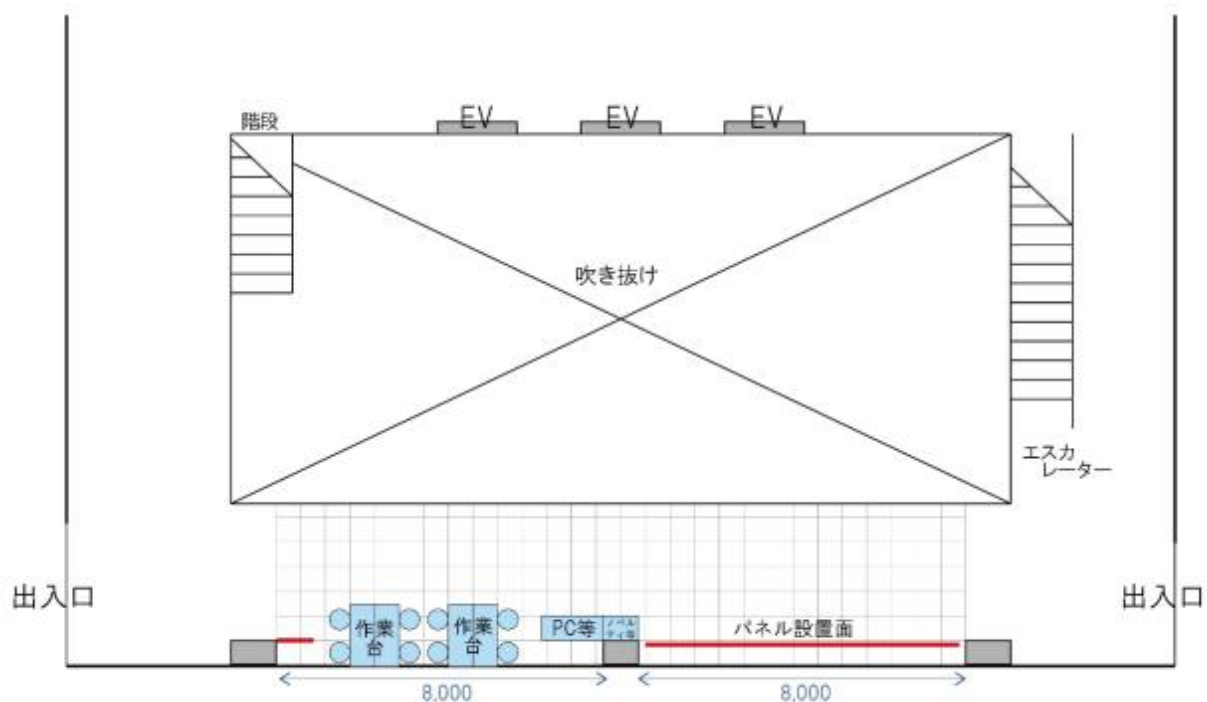


図IV-1-3 ブースレイアウト（A側-立面図）

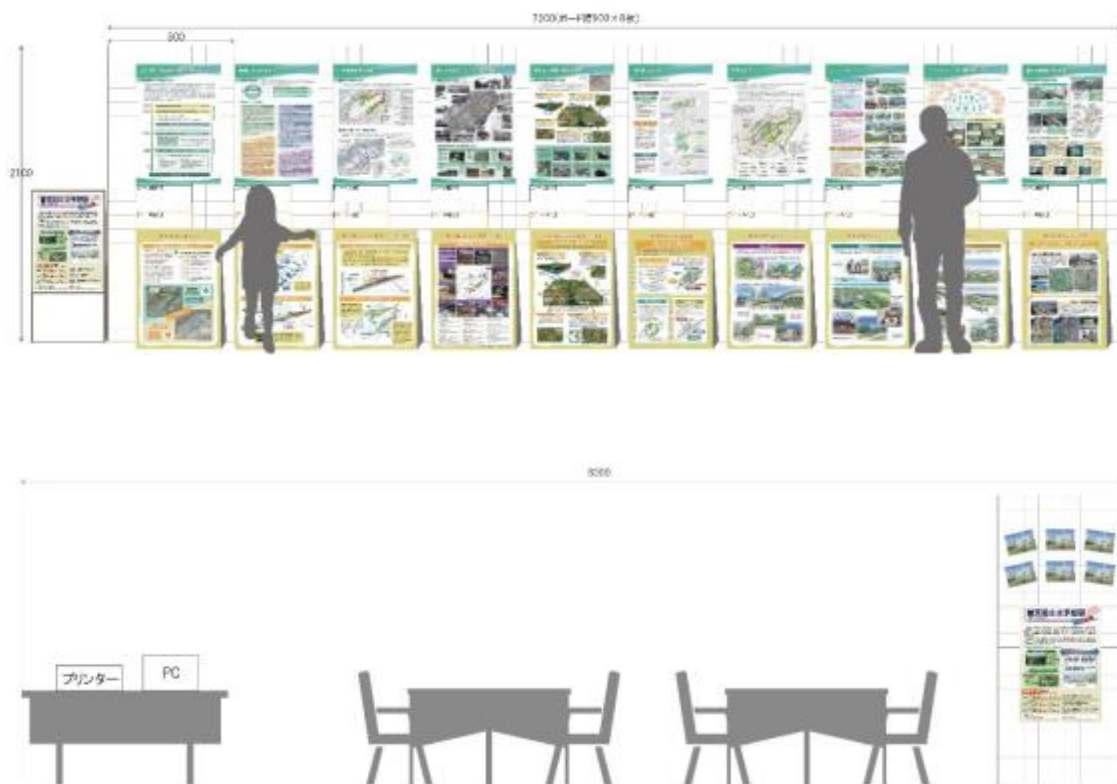


図IV-1-4 ブースレイアウト（B側-立面図）

②サンエー浦添西海岸パルコシティ



図Ⅳ-1-5 ブースレイアウト（平面図）



図Ⅳ-1-6 ブースレイアウト（立面図）

4) 周知用チラシ

入場無料
申込不要

普天間未来予想図

飛行場跡地

パネル展

沖縄県と宜野湾市は、返還が予定されている普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた検討を共同で行っています。様々な人が集い、暮らし、働き、楽しむ、そんな未来のまちのイメージを紹介し、広く県民のみなさまが跡地におけるまちづくりについて考えていただくきっかけになればと思います。

展示内容としては、跡地におけるまちづくりを「普天間未来予想図」と題して、「緑の中のまちづくり」、「新しい沖縄のライフスタイル」をテーマにしたイメージや跡地利用に向けた検討内容について紹介しております。

みんなで未来のまちをイメージしてみませんか。

「緑の中のまちづくり」



緑が
まちの魅力を高め、
暮らしを
豊かにする！

未来の普天間飛行場跡地を
AIと一緒に描こう！

今回のパネル展では、パネル展示とあわせて「画像生成 AI の体験」コーナーを設置します。みなさんの書いたイラストが AI によって写真のような画像に変換することができます。この機会に是非、画像生成 AI を体験しながら、未来の普天間飛行場跡地を描いてみませんか？




AI が生成した画像は
出力してプレゼント！

開催日時・場所

各回とも
10:00 ~ 18:00

令和6年
第1回 11月**23**日(土)・**24**日(日)

サンエー那覇メインプレイス
(3階エントランス)

令和7年
第2回 1月**18**日(土)・**19**日(日)

サンエー浦添西海岸パルコシティ
(4階エントランス (オレンジゾーン))

【お問い合わせ】
 沖縄県 県土・跡地利用対策課
 連絡先：(電話) 098-866-2040 担当：岸本
 宜野湾市 まち未来課
 連絡先：(電話) 098-893-4401 担当：仲本、永山

図Ⅳ-1-7 告知チラシ

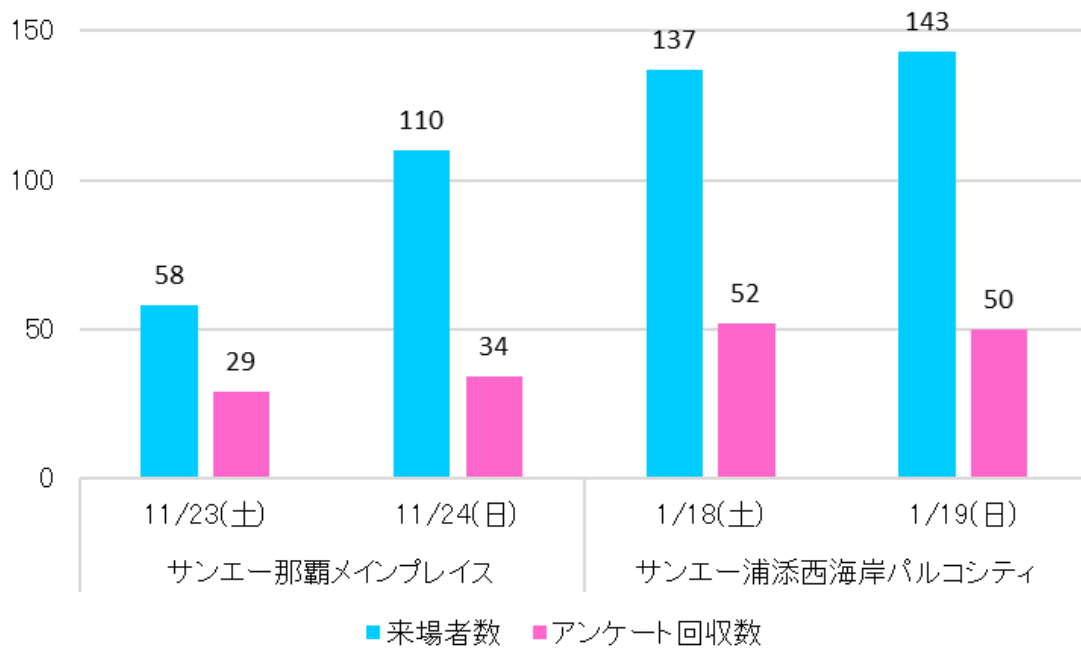
(2) 展示イベント開催結果

1) 来場者数

4日間の展示期間中の合計来場者数は448人となっており、アンケート回収数は165票であった。

表Ⅳ-1-2 開催場所・日別来場者数及びアンケート回収状況

開催場所	サンエー那覇 メインプレイス		サンエー浦添西海岸 パルコシティ		合計
	R6/11/23(土)	R6/11/24(日)	R7/1/18(土)	R7/1/19(日)	
来場者数	58人	110人	137人	143人	448人
アンケート回収数	29票	34票	52票	50票	165票
回収率	50.0%	30.9%	38.0%	35.0%	36.8%



2) 実施の様子

①サンエー那覇メインプレイス



図Ⅳ-1-8 会場の様子（サンエー那覇メインプレイス）

②サンエー浦添西海岸パルコシティ



図Ⅳ-1-9 会場の様子（サンエー浦添西海岸パルコシティ）

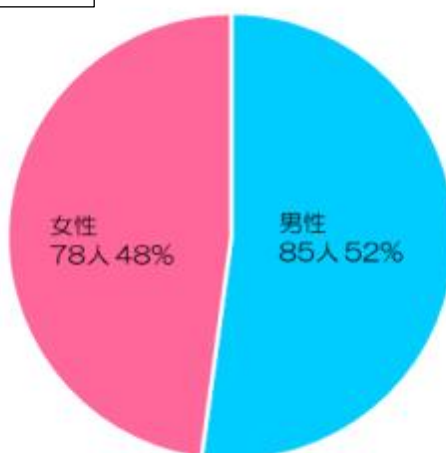
3) アンケート結果

属性について

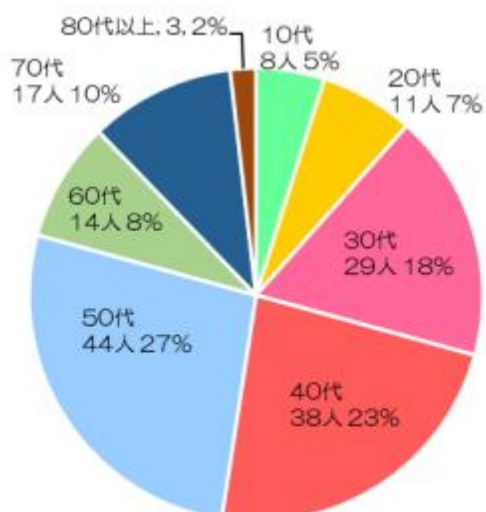
設問1:性別 設問2:年齢 設問3:居住地

年齢については、50代が27%と最も多く、次いで40代23%、30代18%の順となっており、ショッピングセンターでの開催ということもあり、比較的若い世代への意見聴取ができたと考えられる。

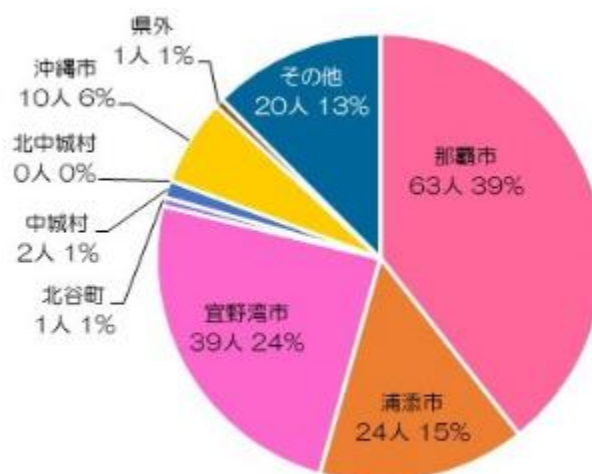
設問1:性別



設問2:年齢



設問3:居住地



普天間飛行場に関する認知度について

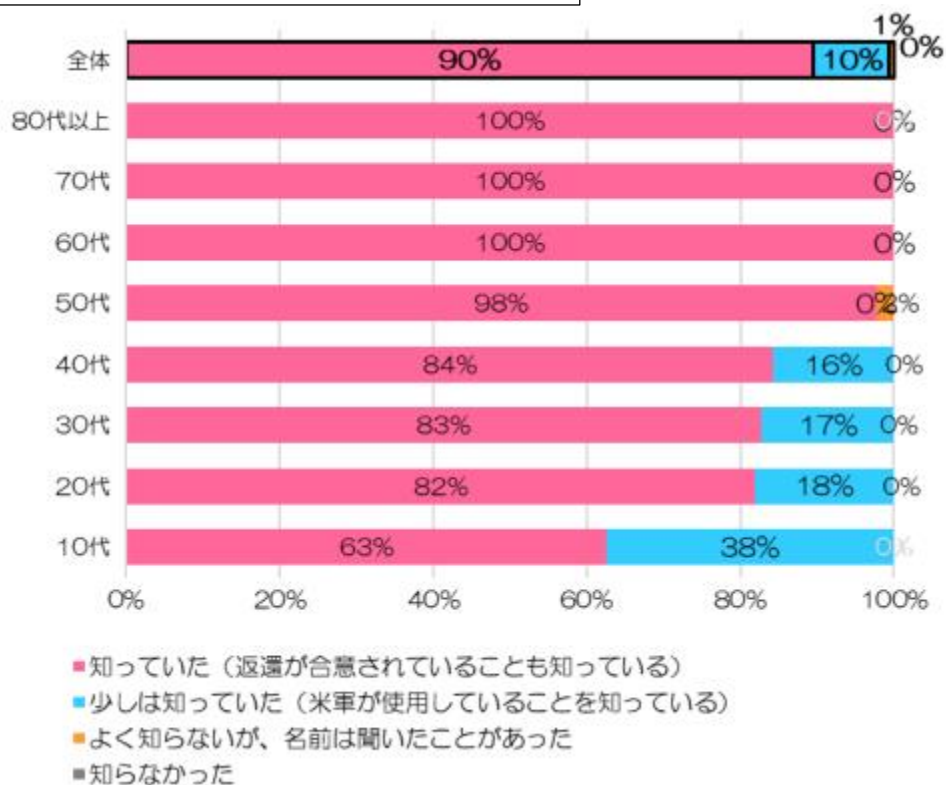
設問 4：普天間飛行場を知っていましたか？

設問 5：跡地利用計画策定に向けた検討が行われていることを知っていましたか？

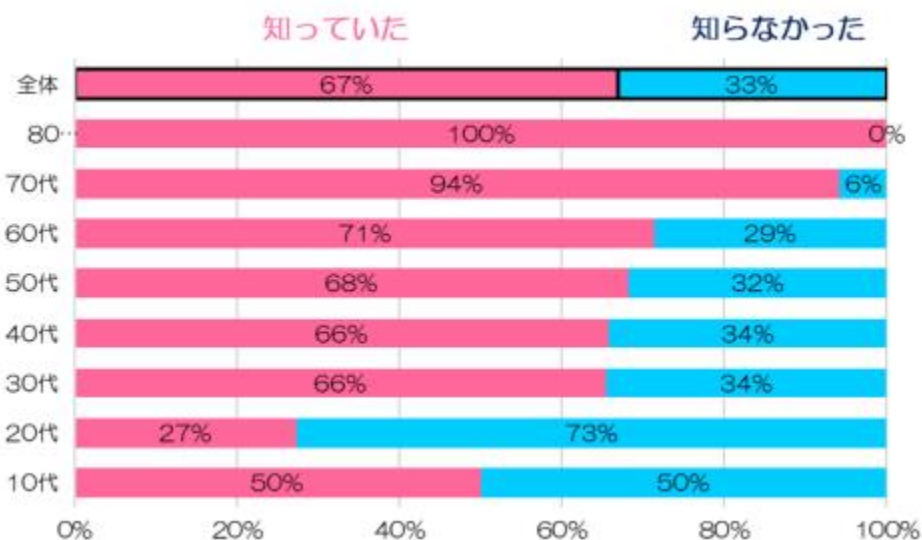
普天間飛行場の「返還が合意されていることを知っている」人の割合が 90%となっている一方、沖縄県と宜野湾市が共同で「跡地利用計画策定に向けた検討を行っていることを知っていた」人は 67%（昨年度の同取組では 71%）にとどまっていた。

今後も引き続き、県民に広く周知を行っていく必要があると考えられる。

設問4: 普天間飛行場を知っていましたか？



設問5: 跡地利用計画策定に向けた検討が行われていることを知っていましたか？

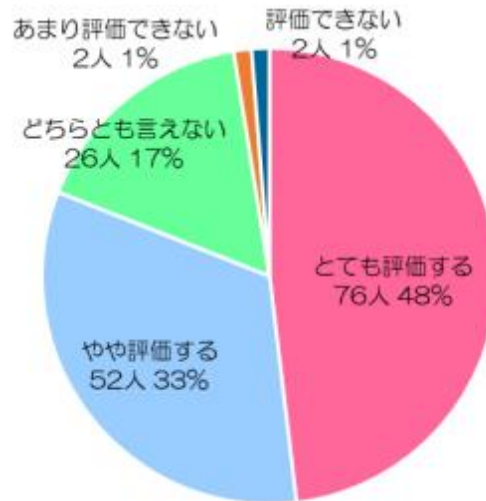


跡地利用に関する取組への評価について

設問 6：跡地利用に関する取組についてどう思いますか？

跡地利用に関する取組への評価としては、「とても評価する」が48%（昨年度の同取組では40%）と最も多かった。「評価する（とても評価する・やや評価する）」と回答した人は81%（昨年度の同取組では77%）、「評価しない（あまり評価できない・評価できない）」と回答した人は2%であった。

昨年度のアンケート結果と比較すると「評価する」が微増している。

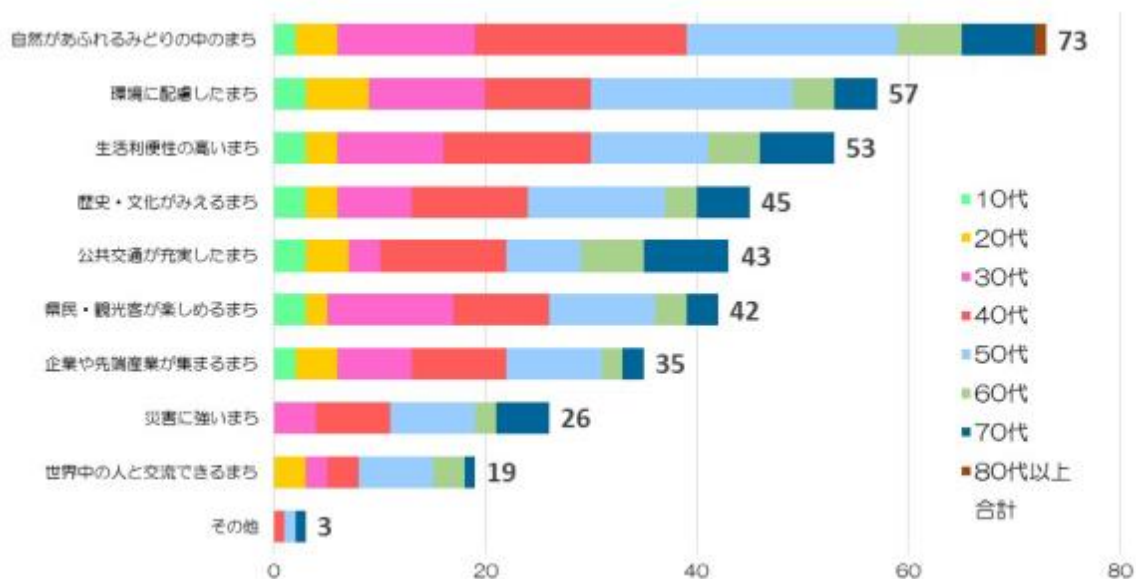


期待する跡地のまち像について

設問 7：跡地がどんなまちになったらよいと思いますか？（3つまで選択）

「自然があふれる緑のなかのまち」が73票（18%）と最も多く、次いで「環境に配慮したまち」57票（14%）、「生活利便性の高いまち」53票（13%）となっており、自然環境を大事にしたまちづくりを求める回答者が多かった。

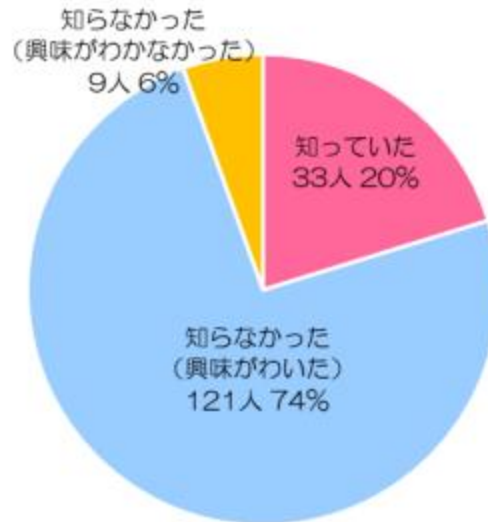
昨年度のアンケート結果では、「環境に配慮したまち」が4番目に多い意見だったことを踏まえると、環境への配慮や持続可能性への意識が高まっていると想定される。



HP「普天間未来予想図」の認知度について

設問 8：跡地利用に関する情報を発信している HP があることを知っていましたか？

ホームページの存在を「知っていた人」は20%（昨年度の同取組では20%）と低い割合であった。知らなかったが「興味がわいた」と回答している人が74%であることから、今後、HP の存在を広く発信することで、HP の閲覧者増が期待できると考える。

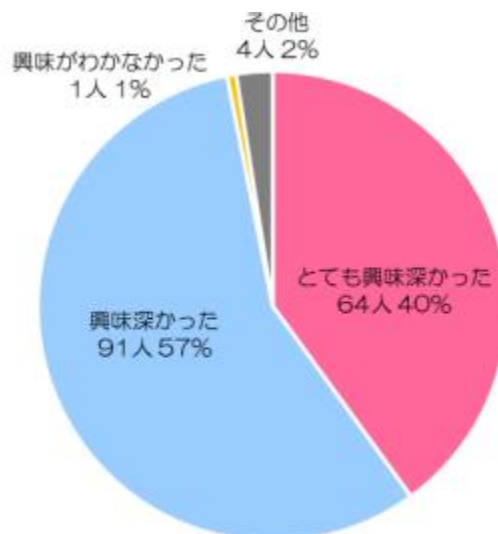


パネル展の感想について

設問 9：今回のパネル展の感想をお聞かせください。

パネル展の感想については、「興味深かった」が57%と最も多かった。興味を持った人（とても興味深かった・興味深かった）が全体の97%を占めていた。

昨年度のアンケート結果では、「満足（とても満足・満足）」が92%となっており、今回はデジタルコンテンツ体験コーナーを併設したことが評価増の要因の一つであると想定される。今後も来場者の興味を喚起するような展示物や体験コーナーも設けることで、情報発信イベントの高評価を維持することが求められる。



その他、ご意見・ご感想 ※主な意見を抜粋して記載

本パネル展や普天間飛行場跡地利用計画に関するご意見・ご感想等

○跡地利用の方向性について

【跡地利用全般】

- ・ 早期返還、跡地利用の早期実現を祈る。世界のモデルとなるような理想の都市実現を。
- ・ 沖縄の復興の象徴となるようなまちになるといいなと感じた。
- ・ 普天間個別で考えるのも大事だが、沖縄全体として有益な場所にできると良い。
- ・ 世界との交友関係を大切にしつつ人と環境と私達の生活に優しい環境をつくりあげていけたらと思う。子供達の未来に安心したい。
- ・ 跡地利用で音の環境まで修復するのは難しいと思うが、石灰岩台地であること、災害にも強い場所と思うので、自然豊かであり、最先端の教育、医療を受けられるような魅力のある普天間となってほしい。子どもたちの時代にそうあってほしいと思う。
- ・ すばらしい普天間神宮や洞窟までの琉球松の参道を復活させてパワースポットとしての新しい宜野湾がみてみたい。世界に発信できる場所として他のどこにもできない取組をしてほしい。
- ・ 普天間飛行場跡地だからこそより現実味を帯びるような取組があると魅力的。例えばモノレールの延長、タクシーの発着・大型客船の発着場など、やりたいけどなかなかできなかったことを形にできる場所になると良いと思う。
- ・ 新都心みたいな町になるといいと思う。
- ・ トヨタが構想しているような住民が生活しやすい町になったらいいと思う。
- ・ どんな風に変わるか楽しみ。静かな場所になるといい。

【自然があふれるみどりの中のまち】

- ・ 現在残っている自然を生かした発展をしてほしいと思った。
- ・ 地下水を今後も利用できるようにしてほしい（田芋畑）。
- ・ 自然が多く残る所なので、あまり色々な施設をつくらず環境を考えて取り組んでほしい。
- ・ 新都心みたいににぎわう町よりは緑豊かで自然な静かな芸術的な町づくりがいいと思う。
- ・ 緑をふんだんに残しつつ産業発展させてほしい。
- ・ 住民コミュニティを造成するための機能（大規模公園、広場）。
- ・ 自然があふれて人々が暮らして行ける空間と年寄りが安心して暮らせる町。

【歴史・文化・景観】

- ・ 滑走路を残して米軍基地があった歴史が分かるようにした方が良いと思う。
- ・ 基地があったという過去も残して伝えていけるような要素もあってほしいと思う。広島の平和公園のような。
- ・ 観光に使いながら基地であったことを活用したまちになったら面白いと思う。
- ・ 未来に向けて沖縄の文化が誇れる町になってほしい。
- ・ 高層マンションは景観が悪くなるのでいらない。

【道路整備・公共交通の充実】

- ・ 交通渋滞が緩和するような公共交通機関が充実してほしい。
- ・ 南部と北部を結ぶ交通結節点の機能。
- ・ 現在計画中のモノレール延伸と連携した都市造りを期待している。
- ・ 普天間基地が無くなったらかきっと便利な交通と栄えた町になると思う。

- ・ 幹線道路は高幅員で余裕を持って造ってほしい。
- ・ 大山田芋水田向けにのみ直線道路があるが、災害時（有事の際）の逃げ道をつくった方がいいと思う（海岸から避難してくる）。
- ・ 普天間⇄大謝名間で抜け道がないのでとても渋滞に困っている。

【その他】

- ・ こどもが遊べるテーマパーク、公園が充実してほしい。
- ・ 国連施設など、平和拠点となるものを誘致してほしい。
- ・ 国際的に利用できるようになってほしい。
- ・ 高齢化社会に向けたコンパクトシティ。
- ・ イノベーションを育てるインキュベーション施設。

【跡地利用に対する懸念事項等】

- ・ 牧港補給地区は経済効果が優先されている印象。普天間も”みどりの中のまち”を掲げているが、結局は大規模商業施設と県民には手が出ない高級マンションになるのでは？普天間跡地が県民のためになる跡地利用の前例になってほしい。
- ・ 高層マンションやビルはビル風が強く吹く。多くの人に住むことになればごみが増え、焼却炉も必要になり、環境に良くない。電気の使用も増えてエネルギー問題になる。
- ・ 孫の代が心配（特に水）。返還は良いが、人々が住んだときに受ける影響が知りたい。汚染物質の除去をして安心できるような土地にして欲しい。

○情報発信について

- ・ 普天間飛行場に関する状況をマスコミ等へつなぎ、若者にも伝え続けていくことが重要。
- ・ 是々非々議論が県内のみならず日本全体で行われるべきだと思った。
- ・ 普天間の状況が分からない移住者や観光客にも知ってもらい活動を行ってほしい。
- ・ 沖縄に住んでいても基地がある事が当たり前になっていて返還等が進んでいる事が分からなかった。もったいないもっと興味を持ちたいと思った。
- ・ （仮でもよいので）返還時期の予測もあると良い。

○パネル展について

- ・ 街の発展が想像できて良かった。
- ・ 関心はあったが、自発的に知ろうと思ってなかったのでパネル展は良い機会になった。今後は自分でも情報をとるようにしようと思う。
- ・ 身近な土地でも知らないことがたくさんあってとても興味深かった。将来のまちのイメージがわかりやすかった。飛行場はどんな所なのか、どのような歴史があるのかパネルでわかりやすく知れてよかった。
- ・ 跡地利用についての取組があることは知っていたが、ちゃんと知れてよかった。基地に対して良いイメージがなく育ってきたので普天間未来予想が明るくうれしい気持ちになった。子どもたちが安心して楽しく過ごせる宜野湾になってほしい。
- ・ わかりやすく跡地利用のことが理解できた。歴史についても触れていたので多くの人が興味を持つと思う。
- ・ 具体的でわかりやすかった。どのくらいのスパンで計画が実行できるか楽しみ。
- ・ イメージ図があり創造しやすかった。子供向けのパネルが分かりやすかった。様々な遺跡があることも初めて知ることができた。

- ・ 娘が興味を持つきっかけになり嬉しく思う。
- ・ 非常にいい取組だと思う。普天間が返還されるとどういう町になるのか、したいのか、これからを担う子どもたちにみて考えてほしいと思った。
- ・ 地形、地下水の資料は大変興味深かった。
- ・ パネルの内容はもっとポイントを絞ってつくってほしい。現時点での返還後のメリット、デメリットを整理してほしい。

○その他

- ・ 未来の事であるが、現実的に返還は可能かどうか？県民に対して現実的なスパンでの説明が必要と考える。
- ・ 未来について宜野湾市内にアンケートをとって決めても良いと思う。
- ・ いつ返還してもらえるか不透明ではあるけれど未来予想図は大事。返してもらったら何かから始めて何が必要で必要でないものを考えられる。
- ・ 返還時期が気になるところ。良い場所になるといい。
- ・ 危険性が早急に除かれて安全な街になってほしい。
- ・ いつ戻ってくるのかその確定を早くしてほしい。
- ・ 先ずは返還を進めて欲しい。
- ・ 何も進んでない。
- ・ 長くかかるかもしれないが声をあげないと何も変わらないのでがんばってほしい。未来の子どもたちのためにも。
- ・ 合意が取れ一日でも早く進んでもらいたい。

アンケート用紙

【表】

あなたの声が沖縄の未来をつくります。ご意見をください。

普天間飛行場跡地 未来予想図

あなたについて教えてください。

Q1. 性別
 ① 男性 ② 女性 ③ その他

Q2. 年齢
 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代
 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

Q3. 居住地
 ① 那覇市 ② 浦添市 ③ 宜野湾市 ④ 北谷町 ⑤ 中城村
 ⑥ 北中城村 ⑦ 沖縄市 ⑧ 県外 ⑨ その他 ()

普天間飛行場跡地についてのご意見をお聞かせください。

Q4. 普天間飛行場を知っていましたか？
 ① 知っていた (返還が合意されていることも知っている)
 ② 少しは知っていた (米軍が使用していることを知っている)
 ③ よく知らないが、名前は聞いたことがあった
 ④ 知らなかった

Q5. 返還が予定されている普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた検討が行われていることを知っていましたか？
 ① 知っていた ② 知らなかった

Q6. 跡地利用に関する取組についてどう思いますか？
 ① とても評価する ② やや評価する ③ どちらとも言えない
 ④ あまり評価できない ⑤ 評価できない

Q7. 普天間飛行場跡地がどんなまちになったらよいと思いますか？ [3つまで選択]
 ① 自然があふれる緑のなかのまち ② 環境に配慮したまち
 ③ 歴史・文化がみえるまち ④ 企業や先端産業が集まるまち
 ⑤ 県民・観光客が楽しめるまち ⑥ 世界中の人と交流できるまち
 ⑦ 生活利便性の高いまち ⑧ 公共交通が充実したまち
 ⑨ 災害に強いまち ⑩ その他 ()

Q8. どのパネルに関心がありましたか？ [3つまで選択]
 ① 米軍施設返還跡地利用の概要 (パネル 1～3)
 ② 跡地の変遷 (パネル 4～7)
 ③ 基地跡地の未来に関する懇談会 (パネル 8～9)
 ④ 普天間飛行場跡地利用計画の中間とりまとめ (パネル 10～11)
 ⑤ 自然環境資源・歴史文化資源 (パネル 12～13)
 ⑥ 模型でわかる集落・戦前の集落の様子 (パネル 14)
 ⑦ 基地がまちになれば、こんなに変わる (パネル 15～16)
 ⑧ 新しい沖縄のライフスタイル (パネル 17～18)

Q9. 普天間飛行場の跡地利用計画に関する情報を発信している HP「普天間未来予想図」があることを知っていましたか？
 ① 知っていた ② 知らなかった (興味があった)
 ③ 知らなかった (興味がなかった)

Q10. 今回のパネル展の感想をお聞かせください。
 ① とても興味深かった ② 興味深かった
 ③ 興味がなかった ④ その他 ()

■ 他にもご意見や感想等ありましたら裏面にご記入をお願いします。

◎ご協力ありがとうございました。ご協力頂いた方には、マイバッグを差し上げます。記入が完了した方は、お近くのスタッフまでこちらのシートをお渡しください。

【裏】

「未来の普天間跡地を AI と描く体験」アンケート

Q1. ご自身が描いた絵のタイトルを教えてください。
 (または何をイメージして描いたか)

Q2. AI が描いた画像について、ご自身のイメージと比べた感想をお聞かせください。
 ① イメージ通り
 ② 少しイメージが異なったが満足 ③ 少しイメージが異なり不満足
 ③ イメージ通りでないが満足 ④ イメージ通りでなく不満足

Q3. 跡地利用に向けて、どのようなことで AI (人工知能) が活用できると思いますか？
 ① 住民等の意見集約 ② 未来の跡地利用のイメージ作画
 ③ 学習・人材育成 ④ 問い合わせ対応 ⑤ 多言語会話
 ⑥ セキュリティ監視 ⑦ 一人ひとりにあったサービス提供
 ⑧ その他 ()

ご協力ありがとうございました。

AI 体験やデジタルコンテンツに関するご意見や感想を自由にお書きください。

図Ⅳ-1-10 アンケート用紙

4) 展示パネル及びパネルの評価

① 大人向けパネル及び来場者の評価

普天間飛行場の跡地利用計画について

計画策定までの取組の流れ

普天間飛行場の跡地利用については、平成18年に「普天間飛行場跡地利用基本方針」、平成19年に「普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた行動計画」を普天間と宜野湾市の共同で策定しました。両市の共同調査や文化財・自然環境調査、関係者との合意形成に向けた取組を進めていなか、平成25年に「跡地利用計画」の中間的な成果となる「全体計画の中間取りまとめ」を策定しました。

その後、社会情勢の変化や文化財調査等による見地の変更、有識者検討会、意見・地権者等の意見、社会状況等の変化等を踏まえ、中長期的な見地として令和4年に「全体計画の中間取りまとめ（第2版）」を策定しました。見地や地権者の意見の多くを踏まえながら、沖縄全体の発展に資する跡地利用計画の策定に向けて引き続き取り組んでいきます。



跡地利用の方向性

跡地の将来像

計画づくりにおける跡地の将来像の実現に向け、各方からの協力を推進します。また、中長期的視点をもって跡地利用の進捗中、時間経過しても変わらない視点を持つべき方向性として位置づけられます。



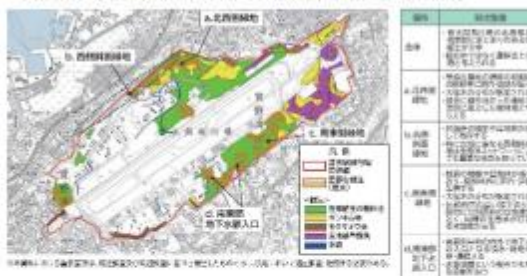
計画づくりの方針



自然環境資源（現状）

植生・生態系の現状

普天間飛行場跡地は、南東部の丘陵地帯を中心とした質の高い森林地及び西側の二次的に成立した農耕地に在りて、貴重な動植物の生育可能な環境があるため、この2つの自然環境が特に重要と考えられます。



歴史文化資源（マップ・重要遺跡）

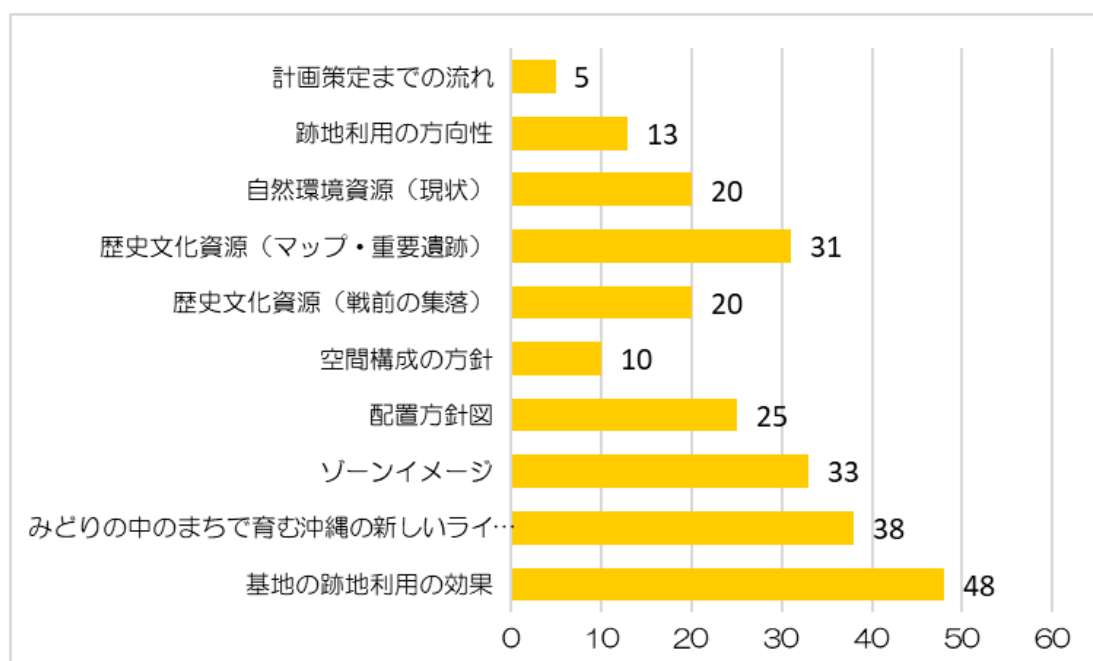
戦前の宜野湾の様子（イメージ）



図Ⅳ-1-11 大人向けパネル（①～④）



図IV-1-13 大人向けパネル (⑨～⑩)



図IV-1-14 大人向けパネルへの来場者の評価

②子ども向けパネル及び来場者の評価

普天間飛行場のこと

宜野湾市にある大きな飛行場について！！

宜野湾市には、普天間飛行場という大きな米軍施設があり、宜野湾市の約4分の1の大きさです。宜野湾市の小学校の平均割で換算すると・・・約230個分になります！

戦前は人々が暮らしている集落がありましたが、戦後、米軍によって飛行場として整備されました。普天間飛行場は将来、用途が予定されており、新しいまちづくりに向けて話し合いが行われています。

普天間飛行場の歴史の経緯

1946年4月	太平洋戦争後、米軍の占領下により、飛行場跡地。
6月頃	米軍により整備され、本土決戦に備えて空天両用飛行場建設開始。
6月23日	沖縄戦で米軍の戦力が弱まり、
1962年	米軍が基地のフェンスを設置開始。
1972年	沖縄が本土に返還。
5月15日	
1979年	ハネー飛行場の返還に際し、その返還費用に普天間飛行場が選ばれ、移転しようとする計画。

普天間飛行場の今

世界で最も危険と言われる飛行場・・・

戦前に人々が暮らしていた頃・・・

普天間飛行場の昔

[illegible]

飛行場はどんな場所？（地形・自然）

サンゴ礁からできた琉球石灰岩層が地形を作った！？

飛行場の西側一帯は、急勾配の斜面となっており、この高低差が西側の**護岸の長さ**をつくりだしています。
サンゴ礁からできた**琉球石灰岩層**は西側にいくほど厚くなっていると考えられます。厚いところでは固い地盤の**高気圧気管**まで 30 ～ 40m 程あると考えられており、この層の中には**洞穴**があると推測されます。

手つかずの自然が残っている！？

南東側と北西側に豊かな**植生**が残っており、貴重な動植物の生育の可能性があると考えられます。

熱帯の連続した緑地や地下水源の入口の湧き水が多く見られる南東側の緑地は、この地特有の**王簾系**のつながりや地下水保全においても重要と考えられます。

飛行場はどんな場所？（歴史）

昔の名残りがここにある！

1 伊豆上原遺跡群

2 上原遺跡の遺跡

3 野高ツツミ遺跡

4 新田山テラガマ岡古遺跡

5 新田山後照ウツナ一跡

6 伊豆野道メヌカ一古遺跡

7 新田山ツヌカ一古遺跡

8 伊豆野道高松岡遺跡

9 伊豆山ウツナ一古遺跡

10 伊豆野道ウツナ一古遺跡

11 伊豆山ウツナ一古遺跡

12 伊豆野道ウツナ一古遺跡

13 伊豆野道ウツナ一古遺跡

14 伊豆野道ウツナ一古遺跡

15 伊豆野道ウツナ一古遺跡

16 伊豆野道ウツナ一古遺跡

17 伊豆野道ウツナ一古遺跡

18 伊豆野道ウツナ一古遺跡

19 伊豆野道ウツナ一古遺跡

20 伊豆野道ウツナ一古遺跡

21 伊豆山ウツナ一古遺跡

22 伊豆野道ウツナ一古遺跡

23 伊豆野道ウツナ一古遺跡

24 伊豆野道ウツナ一古遺跡

25 伊豆野道ウツナ一古遺跡

26 伊豆野道ウツナ一古遺跡

27 伊豆野道ウツナ一古遺跡

28 伊豆野道ウツナ一古遺跡

29 伊豆野道ウツナ一古遺跡

30 伊豆野道ウツナ一古遺跡

31 伊豆野道ウツナ一古遺跡

32 伊豆野道ウツナ一古遺跡

33 伊豆野道ウツナ一古遺跡

34 伊豆野道ウツナ一古遺跡

35 伊豆野道ウツナ一古遺跡

36 伊豆野道ウツナ一古遺跡

37 伊豆野道ウツナ一古遺跡

38 伊豆野道ウツナ一古遺跡

39 伊豆野道ウツナ一古遺跡

40 伊豆野道ウツナ一古遺跡

図IV-1-15 子ども向けパネル (①~④)

飛行場はどんな場所？（集落）

地形と緑を活かした集落のひみつ

露天劇場行場となる館の集落の模範を製作し、昔の人たちの生活の知恵を明らかにしました。



未来のまちの計画図

世界に誇れる優れた環境の創造

～みどり（歴史・緑・地形・水）の中のまちづくり～

現在、晋天閣所行場の跡地に、新しいまちをつくるために話し合いが行われているところです。未来のまちの計画について、くわしく紹介します！

まちのゾーニング計画

地球の歴史・緑・動物・水の循環



綠地空間計畫

今ある緑地を活かし、新しい緑地も増やして、緑地全体をみどりの中のまじりにする計画です。緑地と都市がひとつになった大規模緑地エリアがまちの中心に配置されています。



交通網計画

飛行場で分離されていた交通をつなぎ、東西南北にスムーズに移動できる道路をつくる計画です。



未来のまちのイメージ

都市拠点ゾーン

「都市拠点ゾーン」は、交通の乗り換え拠点であったり、お店や飲食店などの人が集まる施設、市民のための施設があります。まちの中心地として、魅力的で便利な場所をイメージしています。



新しい交通が通り、人々が集まってにぎわいがあるまち



誰もが思い思い!



おしやれな おしやれな

未来のまちのイメージ

振興拠点ゾーン

「振興拠点ゾーン」は、とっても大きな公園がある自然豊かな場所です。緑に囲まれるまちなかには、最先端の研究や企業が集まり、ビジネスと交流が活発に行われているイメージです。



研究やビジネスの



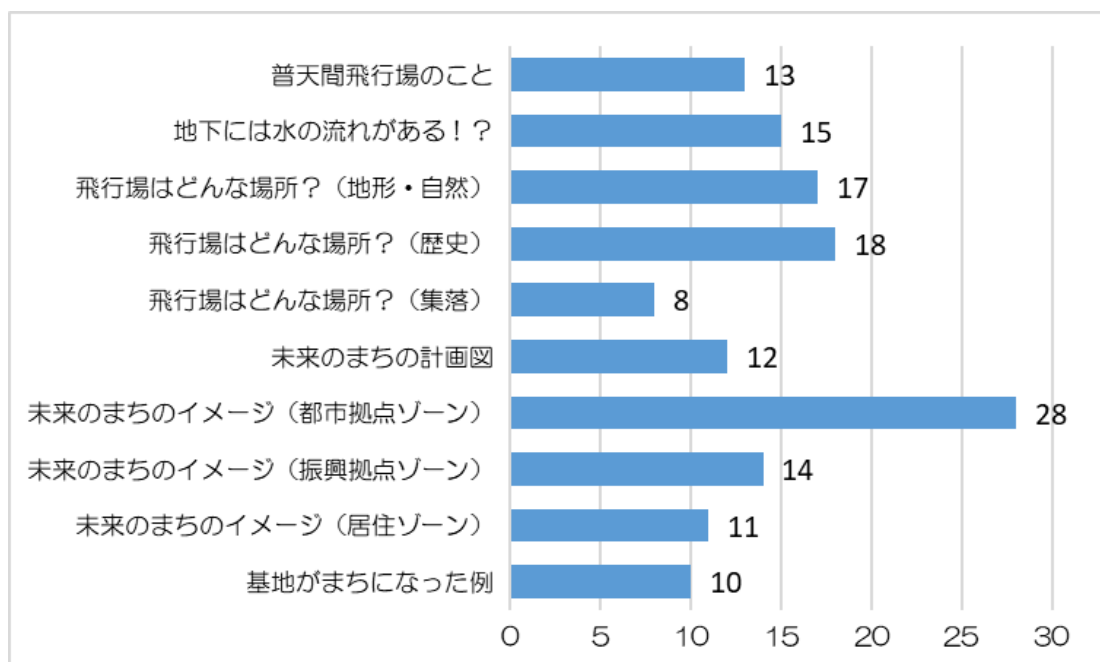
世界の先端研究が行われる

ひらめきを生む

図IV-1-16 子ども向けパネル (⑤~⑧)



図Ⅳ-1-17 子ども向けパネル（⑨～⑩）



図Ⅳ-1-18 子ども向けパネルへの来場者の評価

2. 地元新聞を活用した情報発信

本事業に関し、地元紙面による情報発信について以下に整理する。

(1) 掲載の概要

新聞社へ本事業の情報を提供するとともに、下表の関連有識者を紹介した。

なお、紙面への掲載については、令和7年4月中旬ごろ掲載見込みとなっている。

表Ⅳ-2-1 有識者選定の視点

	有識者	視点
1	池田孝之先生 (琉球大学名誉教授)	・ 儲かる公園という視点で大規模公園を核としたまちづくり ・ 水・緑を含めたリゾート環境を整備することで世界に誇れるまちを実現 ・ (具体的な事例) 環境づくりと産業振興が融合したソフィアアンティポリス
2	小野尋子先生 (琉球大学教授)	・ 周辺地域の湧き水利用を考慮した地下水涵養のための緑地配置 ・ 国内外の亜熱帯島嶼型の最先端都市を形成 ・ (具体的な事例) 緑を国家の戦略として位置付けているシンガポール
3	又吉信一会長 (地主会会長)	・ 合意形成に向けては、地権者への啓発活動と人材育成が必要 ・ 優れた環境を創造するためには地元の方の参画が必要

3. ホームページの更新

(1) コンテンツの更新

PV、イベントの報告など新たなコンテンツを順次格納し、サイトのアップデートを行い、地権者、県民・市民に情報発信の充実を図った。

更新項目は、以下のとおりである。

【更新項目】

- ・「バーチャル普天間未来シティ」の公開
- ・イベントの開催告知
- ・海外視察の実施報告
- ・イベント（普天間未来予想図パネル展）の実施報告

1) バーチャル普天間未来シティの公開

過年度に作成した仮想空間「バーチャル普天間未来シティ」へのリンクを追加した。



「バーチャル普天間未来シティ」へのリンクを追加

2) イベント（普天間未来予想図パネル展）の開催告知

巡回パネル展の開催告知バナーの作成及び掲載を行った。



イベント開催告知バナーを追加

3) 海外視察の実施報告



訪れた都市の位置を掲載

視察のポイントを整理



スービック地区の概要を
掲載

Subic
スービック地区

大規模な返還跡地の開発
基地の記憶と遺産の活用

67,000haにおよぶ広大な米国のスービック海軍基地跡地の開発に、インフラ整備、機能誘導、工業団地運営など一気通貫で取り組んでいます。

地区内に存在する港湾機能、空港機能を効果的に活用し、大きく2つの工業団地整備を行い、工業機能の集積が進められています。

同時に、地区内の海、山といった自然環境を効果的に活用して、観光やリゾート機能の誘導も計画的に進められ、水族館や自然生態を生かしたサファリが整備されているほか、リゾートホテルやカジノ誘致なども進められています。





現在の航空写真
画像出典: SUBIC BAY NAVAL BASEホームページより
返還前の基地時代

工業やアミューズメント等の計画的な誘致

地区の開発・運営は開発庁が一元的に行っており、企業誘致も主体的に行っています。税制優遇やワンストップサービスなどを提示し、海外企業を誘致しています。

工業機能だけでなく、それを支える住宅やサービス、コンベンション機能の充実を図っており、スービック・ゲートウェイパーク内には、開発庁が整備・運営する大規模なコンベンションセンターが立地しています。

開発庁では、様々な国際的なイベントに参加し、海外からの投資家の誘致活動などを積極的に進めています。





ゲートウェイパーク（サービス地区）
工業団地入口

クラーク地区の概要を掲載

Clark
クラーク地区

基地の記憶と遺産の活用

1991年に返還を受けたクラーク空軍基地跡地の開発であり、米軍の空港を再利用してクラーク国際空港を整備しています。

広大な跡地を生かした産業団地の整備のほか、公共施設やレジャー施設の整備を精力的に進めています。

地区内には、米軍利用時の住宅も保全され、再利用されています。



Pictorial Historyより



クラーク国際空港

画像出典: クラーク国際空港ホームページより



クラーク国際空港

工業やアミューズメント等の計画的な誘致

経済特区としての税制優遇や地区内空港の有効活用などの取組を展開し、国内外から1000社を超える製造業の誘致を実現しています。

今後、地区の更なる機能強化に向けて、「国際フードハブ」、「公共交通との一体化」、「クラーク中央ビジネス地区」、「中間層向け住宅整備」といった4つの大型プロジェクトを向こう5年間程度で展開すべく取組を進めています。

また、マニラとクラークを結ぶ鉄道の整備が進められています。

地区の開発と運営はいずれも開発公社が担っており、政府から公社にさまざまな決定権が与えられているため、スピード感をもった事業展開ができていることが特徴です。





基盤整備済み区域。新幹線高架の建設も進む



産業ビルの開発が

ニュークラーク地区の
概要を掲載

New Clark ニュークラーク地区

マニラ首都圏の人口過密や交通渋滞、洪水リスクなどを軽減することを目的として、マニラ首都圏の機能分散の観点より、2016年に国家的プロジェクトとして事業が開始されました。

基盤整備や先行的な施設の建設が進められてきたところであり、本格的な都市建設はこれからです。

工業やアミューズメント等の計画的な誘致

今後、中央政府の機関や国立大学などの教育機関の移転が予定されているほか、中間層向け住宅の整備や高級ゴルフリゾート・カジノ整備などの計画も進められています。

2019年の東南アジア競技大会で使用された陸上競技場（20,000人収容可能）や、水泳競技場（2,000人収容可能）、選手村、ビジネスセンターなどがあり、同施設はフィリピンナショナルチームの合宿や練習、国内外の大規模スポーツ大会などで活用されています。

また、フィリピンの大手ディベロッパーが主に物流、軽工業、ハイテク企業を対象とした100haの工業団地の開発を進めています。



整備済みのスタジアム

画像出典: BCDAホームページより



選手村として整備

画像出典: BCDAホームページより

持続可能な都市開発に向けた取組

スマートシティに関する取組も進められており、日本企業によるスマート交通の実証実験などが実施されています。



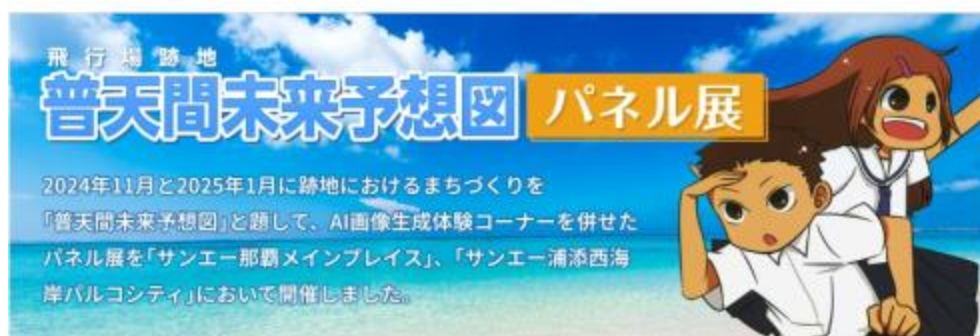
画像出典: BCDAホームページより



他の海外視察実施報告ページでは、フィリピン視察の実施報告ページへ変遷するバナーを追加した。



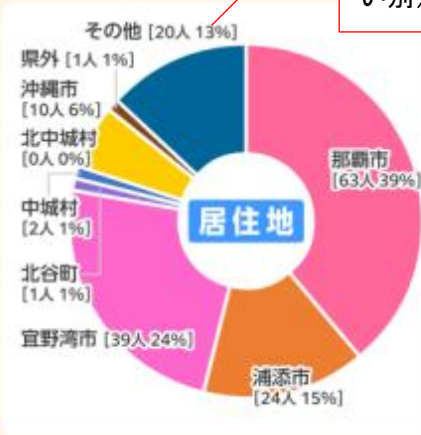
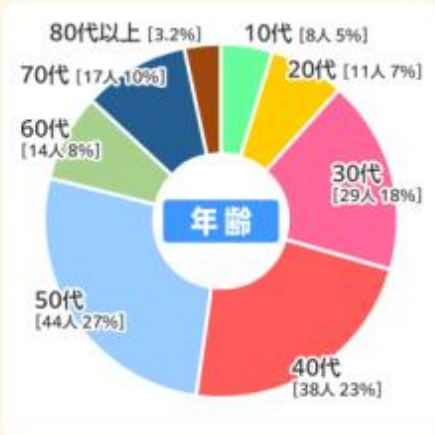
4) イベントの開催報告



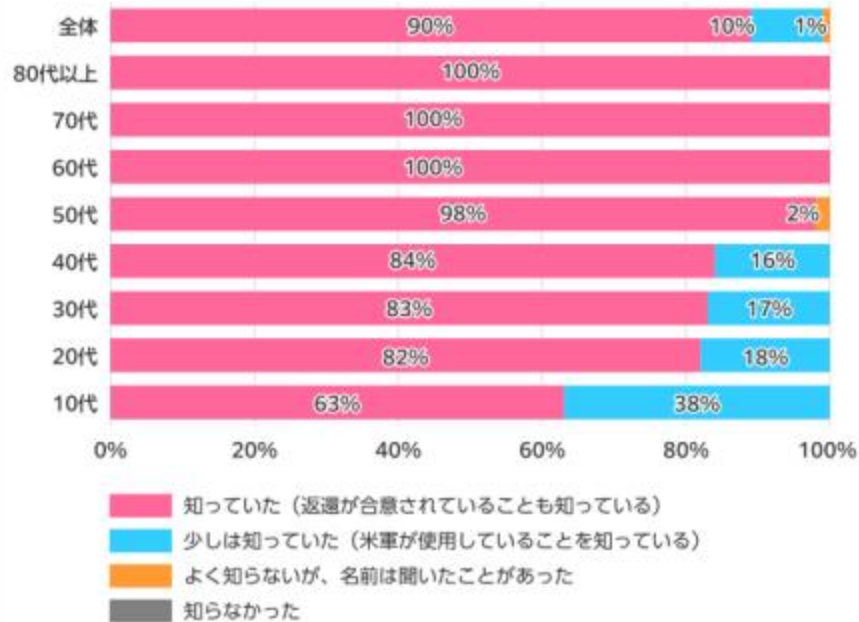
来場者アンケート

合計来場者数：448人 / アンケート回答者：165人

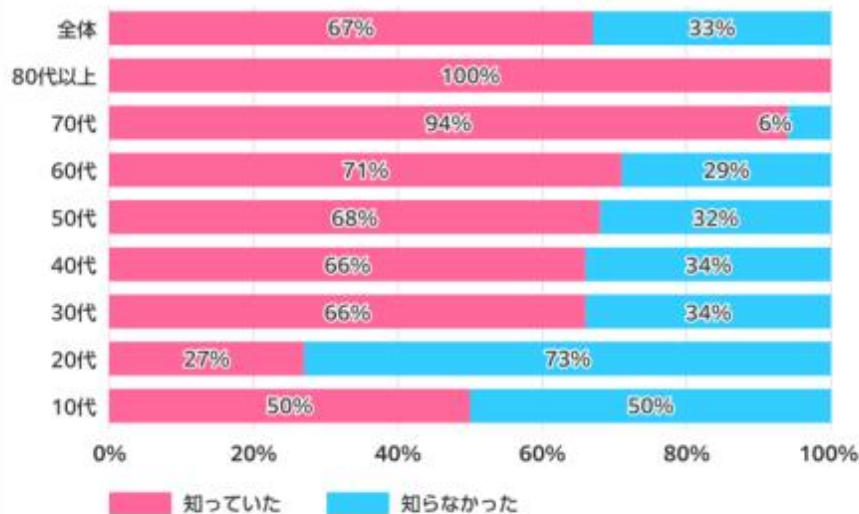
来場者の属性（年代別、住まい別）で紹介



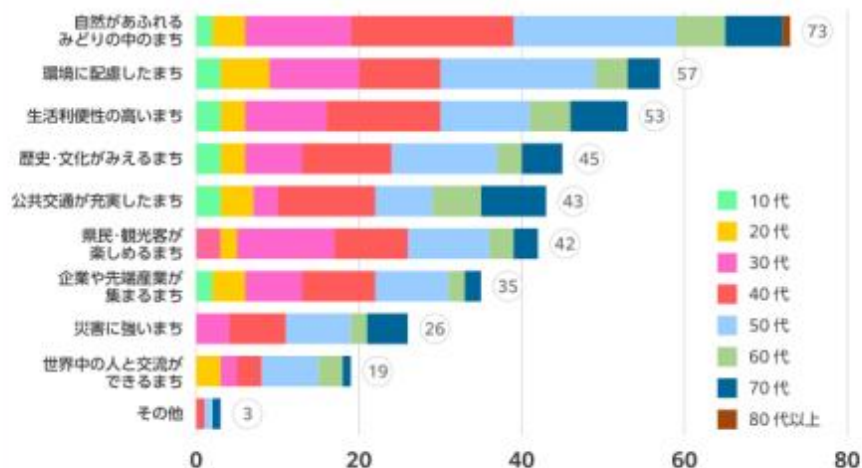
Q. 普天間飛行場を知っていましたか？



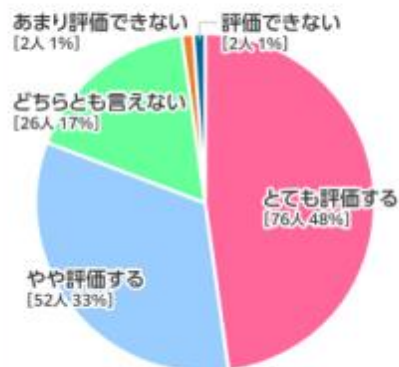
Q.跡地利用計画策定に向けた検討が行われていることを 知っていましたか？



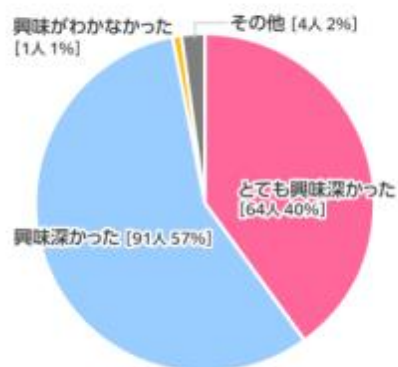
Q.跡地がどんなまちになったらよいと思いますか？ (3つまで選択)

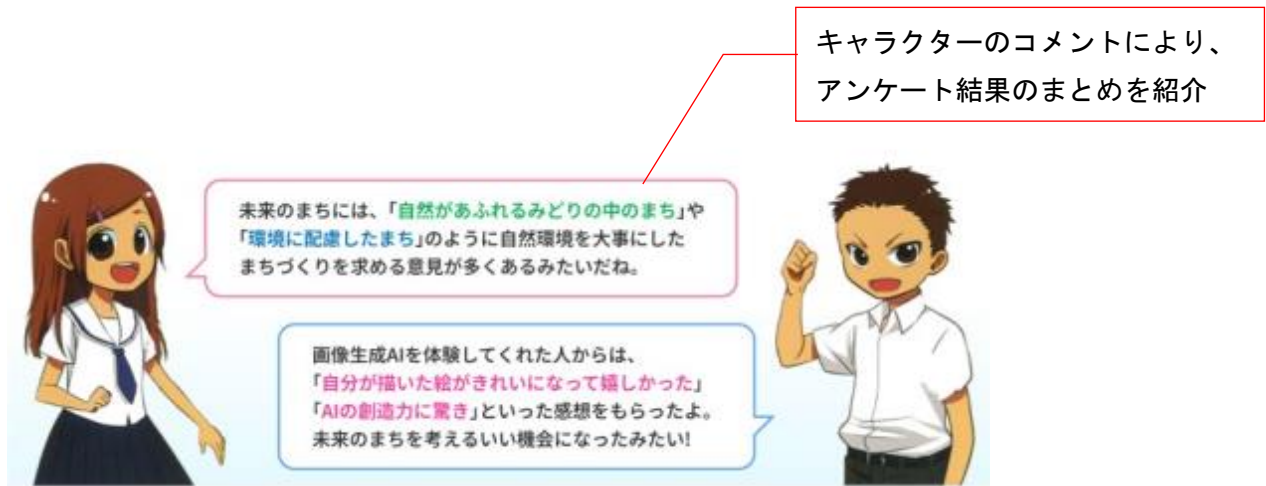


Q.跡地利用に関する取組につい てどう思いますか？



Q.パネル展の感想をお聞かせ ください。





過去のイベントはこちら

2024年

パネル展
開催イベント

2022年

パネル展
開催イベント

2021年

パネル展
開催イベント

2019年

こども電が関見学デー
開催イベント

2018年

宜野湾市民図書館
開催イベント

トータルリビングショウ
開催イベント

「パネル展開催イベント」を過去のイベントに移動

(2) ホームページ周知のフライヤー作成

県市の情報発信ツールである SNS や広報誌への掲載を想定した QR コード付きの「普天間未来予想図」を紹介するフライヤーの作成を行った。

普天間飛行場跡地未来予想図

みんなで考え、動き出している計画の様子を動画でご覧いただけるサイトです

▲ 普天間未来予想図 未来のまちイメージ PV から抜粋

沖縄県と宜野湾市は共同して「普天間飛行場の跡地」利用に向けた取組みを進めており、これまで学識経験者や地権者・県民・市民の皆さん、関係機関等と一緒に検討を行ってきました。ホームページでは、跡地利用に関するこれまでの取組み内容を、文章のみではなく“見て楽しむ”ことのできるように、VR 映像や動画など分かりやすく紹介しています。

那覇新都心の 2.2 倍の面積である“普天間飛行場の跡地”がどのようなまちになるのか気になった方は「QR コード」から覗いてみてください。

▲ 普天間飛行場跡地未来予想図ホームページ TOP ページ

▲ QR コード覗いてみてね！

コンテンツの一部を紹介します！

模型で見る むかしの風景

「緑の中のまちづくり」

「緑の中のまちづくり」で人気の高い都市を訪ねてみました

イベント情報

沖縄フォーラム新会場

パラスポーツ新会場

沖縄県・宜野湾市

図Ⅳ-3-1 ホームページ周知フライヤー

(3) アクセス解析（バーチャル普天間未来シティ）

(1) コンテンツの更新(1)において公開した「バーチャル普天間未来シティ」について、アクセス解析を実施した。

1) 概要

対象ページ：<https://futenma-mirai.jp/>



図Ⅳ-3-2 バーチャル普天間未来シティサイト画面

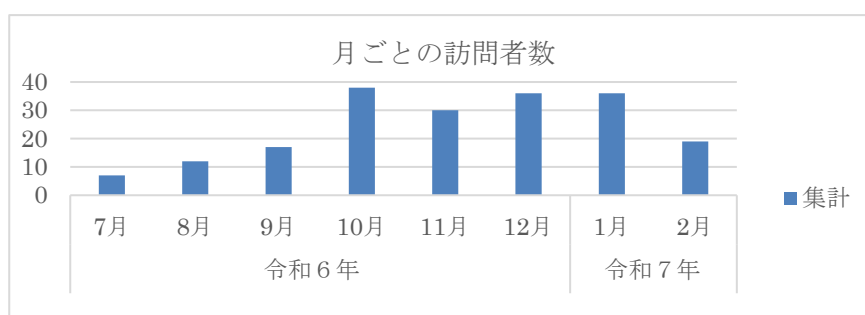
集計期間：令和6年7月23日～令和7年2月28日

2) 集計結果

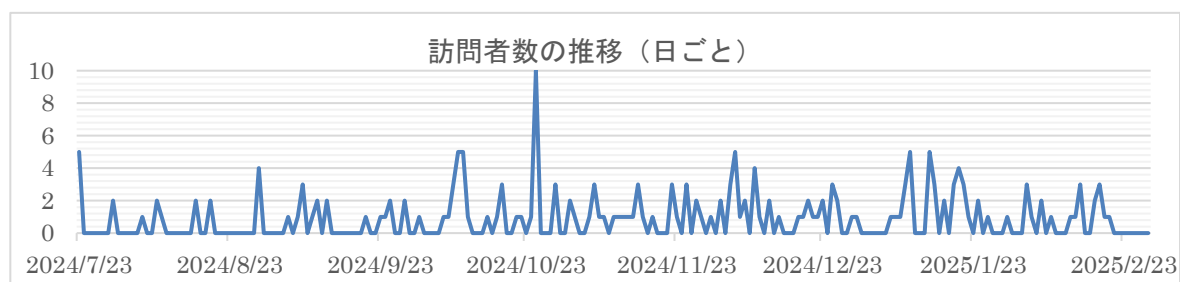
令和6年10月以降についてはアクセス数が伸びており、イベント実施の効果、影響も考えられる。(11月、1月にパネル展を実施、周知フライヤーを配付)

表Ⅳ-3-1 月ごとの訪問者数

年	令和6年						令和7年		
月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	総計
訪問数	7	12	17	38	30	36	36	19	195



図Ⅳ-3-3 月ごとの訪問者数



図Ⅳ-3-4 訪問者数の推移